

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 686 2024年 12月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

地域とのむすびつきを深め、地域ぐるみの健康づくりを！ くらしと平和を守る政治を求め、強く大きな友の会を！

代々木健康友の会第57回定期総会開催



報告・議案提案、特別決議等が採択され確認された

10月26日、代々木病院東館3階で代々木健康友の会第57回定期総会が開催されました。総選挙の投票日前日ということもあり、来賓の方々にはご遠慮いただきました。代々木病院の河邊院長、澤田事務長、鈴木看護部長には最後まで参加いただきました。



布施会長



河邊院長

最初に布施会長が「日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。代々木病院は一貫して被爆者に寄りそい、被爆者医療をつづけてきました。わがことのように喜びたい。厳しい医療と介護の情勢ですが、政治を変える運動をみなさんと頑張りたい」とあいさつしました。続いて、代々木病院の河邊博正院長からご挨拶をいただきました。河邊院長は、給料も年

一年間の活動報告

伊香事務局長が一年間の活動をスライドで紹介。特に、コロナ禍を経て、地域のみなさんとの共同の広がりを実感した年だったと、健康講座などの取り組みを紹介しながら報告しました。また、院内で再開した「ころばん体操」は開催の度に参加者が増え、地域の知り合いに声をかけていただいで仲間も増えていくこと、「ころばん、最高！」とうれしいお言葉をいただいでいることも紹介しました。

地域との共同では、鳩森神社の盆踊りも通年通りの開催となり、鳩森神社例大祭では病院でお神輿の担ぎ手のみなさんをおもてなし、町会の役員さんから「地域にくつはならない病院」とご挨拶をいただいたこと

報告しました。友の会のサークル活動も通常通りの開催となり、院内に会場を移した俳句の会や布遊び、新たに散策サークル、これまでの歩きカメラ、歩こう会、歴史探訪などもおこなってきました。俳句の会やヨガ教室は例会への参加が増えています。総会に向けたアンケートの中で「毎号くらしと健康を楽しんで読んでいます。友の会活動が地域になくてはならない繋がりがさらに広がっていることを実感しました」という意見を紹介し、友の会と代々木病院は支えあう関係であり、友の会を大きくすることで活動が豊かに広がります。この機会に仲間増やしの活動にご協力をと訴えました。

討論後に議案を採択、活動表彰に拍手

続いて、2024年度の決算、会計監査の報告、2025年度予算の提案がおこなわれ、質疑、討論をおこないました。友の会の「くらしと健康」を読むと河邊院長が地域に目を向けた一生懸命さが伝わってきます。患者さんにとっても、地域にとっても大事なことだと感じている。

健康講座をもっと定期的にやってほしい。高齢者も子どもも参加できるような企画をお願いしたい、などの貴重なご意見をいただきました。議案はすべて採択され、新役員の選出、特別決議を確認しました。活動表彰は、昨年の友の会拡大月間で10数名の仲間を増やした4階病棟、健康づくりで協力いただいたリハビリテーション部に感謝状と粗品



リハビリテーション部に感謝状

を贈呈しました。また、今年から健康づくりに参加されている皆さんに「健康チャレンラストはコーラスとミニ体操と

ラストはコーラスとミニ体操と

はじめて病院のハートビートコーラスに出演していただきました。最初有志による合唱曲・群青(東日本大震災で被災した中学校の生徒が全国に散りバラバラとなった生徒たちの思いを歌詞にまとめ曲にしたとのこと)、そして、二曲目は「You Raise Me Up」(あなたが私を引き上げてく

れるという意味)で、短い間の練習と話していましたが、すばらしい歌声でした。最後に、リハビリテーション部の菅谷さんが「地域に寄りそう病院」としてリハビリテーション部の活動を紹介し、ミニ体操をみんなで行い、二体操をみんなで行い、元気をもらい散会しました。



ハートピアコーラスが出演



全員でミニ体操

総会に参加されたみなさん、ありがとうございました。また、アンケートにご協力をいただいたみなさん、ありがとうございました。病院への要望、意見については、すべて病院に報告します。また、友の会へのご意見などについては今後に生かしていきます。

千駄の萱

10月27日に第50回衆議院選挙が行われました。連立与党は279議席から64議

席減らして215議席になりました。過半数の233議席を大きく割り込んだのは、2009年以来で歴史的な大敗です。今回の選挙結果を受けて、いろいろなところで変化が生まれていきます。

▼最も重要なことは、憲法改正を主張する政党・議員の総数が憲法改正発議に必要な衆議院での3分の2にあたる310議席を大きく下回ったことです。昨今では防衛費の倍増や敵基地攻撃能力の保有など、戦争をしたい国に傾倒してきたなかで、今回の選挙結果は大きな歯止めになります。

▼マイナ保険証も風向きが変わってきました。厚生労働省やデジタル庁も、「12月2日以降はマイナ保険証がなければ病院にかかれない」といった誤解を招く広報をしていましたが、最近では、マイナ保険証がなくてもこれまで通り受診できますといったトーンが変わっています。

▼世論で大きく変わった「風向き」。今後の展開に目が離せません。